

学年	高校2年	教科	数学科	科目	数学Ⅱ	単位数	5
教科書名		数学Ⅱ（数研出版）		副教材名	サクシード数学Ⅱ+B（数研出版）		
クラス・コース		中高一貫文系					

I. 目標

三角関数, 指数関数・対数関数及び微分・積分の考えについて理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察する能力を培い, 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。

II. 授業のねらい

4章 三 角 関 数 … 一般角に対する三角関数を学ぶ。三角関数の周期性を理解させ, そのグラフをかく。2倍角, 半角, 合成の公式を学び, 三角関数の最大値・最小値の問題を解くことができるようにする。

5章 指数関数と対数関数 … 指数・対数の定義を学ぶ。指数関数と対数関数のグラフや性質を理解させる。指数・対数関数の性質を数の大小比較や方程式・不等式の解に活用できるようにする。

6章 微分法と積分法 … べき関数の微分積分法を学ぶ。定積分を利用し, 図形の面積を求めることができるようにする。方程式の解の個数を調べ, 不等式に活用させる。最大値・最小値の問題を解くために, グラフを利用できるようにする。

III. 授業の進め方

1. 教科書を中心に, 授業を展開する。必要に応じて, 入試問題等も扱う。
2. 定期的に小テスト実施し, 定着の度合いを図る。
3. 状況に応じて, 問題集等の副教材を使用する。

IV. 学習上の留意点

1. 教科書, 授業用ノート, 問題集, 問題集用ノートを必ず用意して授業に臨むこと。
2. 定期試験の返却後, 間違えた問題を確認し, 復習を必ず行うこと。
3. 提出物の期限は必ず守ること。

V. 定期試験

教科書と問題集の内容を8割, 模擬試験レベルの問題を2割程度出題する。

- | | | |
|-----|------|---------------|
| 1学期 | 中間試験 | : 三角関数 |
| 1学期 | 期末試験 | : 指数関数と対数関数 |
| 2学期 | 中間試験 | : 微分法と積分法 |
| 2学期 | 期末試験 | : 大学入学共通テスト対策 |
| 3学期 | 学年末 | : 大学入学共通テスト対策 |

VI. 評価の方法

定期試験, 小テスト, 提出物の提出状況と内容, 授業の取り組み方などを総合的に評価する。

Ⅶ. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	4章 三角関数 1節 三角関数 2節 加法定理	定期試験 小テスト 提出物	<ul style="list-style-type: none"> ・一般角，弧度法を理解する。三角関数の定義，相互関係，性質を理解する。 ・グラフの形や性質を調べる。三角方程式・不等式を含む，関数の最大値・最小値について理解する。 ・加法定理，2倍角，半角の公式を理解する。 ・三角関数の合成について理解する。 ・指数関数について理解する。 ・指数関数の最大値・最小値を求めることができる。 ・対数関数について理解する。グラフとその性質について理解する。 ・対数関数の最大・最小値を求める。 ・常用対数を利用し，桁数や最高位数を求めることができる。
	5	5章 指数関数と対数関数 1節 指数関数 2節 対数関数		
	6			
	7			
二学期	9	6章 微分法と積分法 1節 微分係数と導関数 2節 導関数の応用	定期試験 小テスト 提出物	<ul style="list-style-type: none"> ・導関数，微分係数を理解する。曲線の接線を理解する。 ・関数の増減，極大，極小に関して理解する。 ・関数の最大・最小を求められ，微分を用いて，方程式の実数解の個数を求める。 ・不定積分を理解する。微分との関係について理解し，定積分を用いて曲線で囲まれた図形の面積を求めることができる。
	10	3節 積分法		
	11	大学入学共通テスト対策		
	12			
三学期	1	大学入学共通テスト対策	定期試験 小テスト 提出物	
	2			
	3			

※ シラバスの内容（時間や事項）については，理解度やその他の都合により変更することもあります。